

第5回実践リハビリ研究会

肩関節の理学療法 (実技を中心に)

3D-CT画像を使用し肩関節の肢位と動態から考える 病態把握と治療手技

<概要>

肩関節の理学療法において、肩関節の病態を正確に把握することは大変重要です。肩関節の動きを正確に評価することで、その病態(疼痛や可動域制限、不安定性)を把握することができます。そのためには、肩関節の誘導(動かし方)と触診の技術が不可欠です。

今回は、3D-CT画像等で肩関節の各肢位における関節の適合を視覚的にイメージし、実技を通じて病態を把握するための肩関節誘導の方法などを確認していきます。そして、実践に活用できる手技を習得して頂きます。<内容>

肩関節の各肢位における関節の適合を理解する
肩関節の触診のポイントを理解する。
肩関節の他動的誘導方法と病態把握を理解する



日程

2015年 2月15日 (日)

時間

10:00~16:30

受講料

¥7,500 (定員25名)

講師

勝木 秀治

(関東労災病院主任理学療法士)

講師紹介

スポーツ外傷・障害に対する術後のリハビリテーションの著者で、肩関節のスペシャリストをお招きしました。

会場

酒井医療(株)関西支店ショールーム
〒565-0853吹田市春日3-20-8

案内

北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分

申込

HPIにて受付
<http://jissen-riha.com>

